

授業科目

小児言語障害学I

担当教員名 山岸 達弥、渡辺 時生	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			○

授業の概要

言語発達障害の中で、精神遅滞、広汎性発達障害の特徴を理解す、評価、検査、指導プログラムなどを修得する。

授業の目的

言語発達障害の中で、精神遅滞、広汎性発達障害の特徴を理解する。
 評価方法を障害の診断基準および発達の観点から理解する。
 検査の種類とその利用、検査の実際（施行、採点、解釈、翻訳）と報告書の書き方を理解する。
 指導の諸技法、指導のためのプログラム、指導上の留意点を理解する。

学習目標

- 1.小児の言語障害全体を理解する。
- 2.言語発達障害の成因となる障害の言語・行動特徴および評価・診断基準を説明できる。
- 3.各種検査を理解し、適切な検査法を選択できる。
- 4.指導法の総論について理解する。
- 5.指導法の各論について理解し、実践できる。
- 6.検査の施行、採点、解釈、翻訳（報告書を含む）の各段階を理解できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	言語発達障害の概要	講義	渡辺 時生
2	精神遅滞（知的障害）	講義	渡辺 時生
3	精神遅滞（知的障害）	講義	渡辺 時生
4	精神遅滞（知的障害）	講義	渡辺 時生
5	広汎性発達障害	講義	山岸 達弥
6	広汎性発達障害	講義	山岸 達弥
7	広汎性発達障害	講義	山岸 達弥
8	学習障害、注意欠陥／多動性障害	講義	渡辺 時生
9	各種検査の理解（1）	講義	山岸 達弥
10	各種検査の理解（2）	講義	渡辺 時生
11	指導法の理解（1）	講義	山岸 達弥
12	指導法の理解（2）	講義	渡辺 時生
13	指導法の実際（1）	講義	山岸 達弥
14	指導法の実際（2）	講義	渡辺 時生
15	まとめ		山岸 達弥

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	言語聴覚士のための言語発達障害学	石田宏代、大石敬子	医歯薬出版株式会社	2008年	4,400円＋税	
参考書	リストを講義開始日に別途配布					
その他の資料						

評価方法

期末試験により評価する。

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：火曜日 12：00～13：00（山岸達弥） 月曜日 12：10～13：10（渡辺時生）
 連絡先：yamagisi@nuhw.ac.jp tokio-w@nuhw.ac.jp